



令和8年度全国学力・学習状況調査 結果の概要

四條畷市教育委員会

1

令和8年度全国学力・学習状況調査の概要



文部科学省・国立教育政策研究所

調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、

全国的な児童生徒の学力や
学習状況を把握・分析し、
教育施策の成果と課題を検証し、
その改善を図る

学校における児童生徒への
学習指導の充実や
学習状況の改善等に
役立てる



そのような取組を通じて、
教育に関する継続的な
検証改善サイクルを
確立する



調査概要

調査実施日	令和8年4月20日(月)～5月29日(金)
調査対象	小学校6年生、中学校3年生
調査事項	①児童生徒：教科調査〔国語、算数・数学、 英語（中学校のみ） 〕 / 質問調査 ②学 校：質問調査 ※令和5年度以来の実施
調査問題	・学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題を出題 ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善のメッセージを発信
今年度の調査の特徴	・中学校・英語（4技能（聞くこと・読むこと・書くこと・話すこと））の 全面CBT（Computer Based Testing）化 ※「話すこと」調査のみ令和5年度もCBTで実施 ・小学校・児童質問でのランダム方式の導入

本市の実施状況

- 実施校数 市立小学校6校、市立中学校3校の全校で実施
- 実施児童数 小学校第6学年児童 387人
- 実施生徒数 中学校第3学年生徒 356人

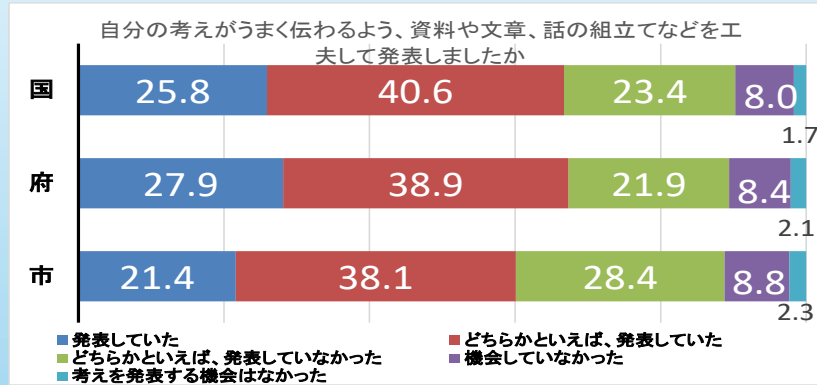
以下の項目で結果の概要をまとめています。

- 1 「学びに向かう力」
- 2 「自己有用感」
- 3 「生活習慣」
- 4 「ICT機器の活用」
- 5 小学校国語
- 6 小学校算数
- 7 中学校国語
- 8 中学校数学
- 9 中学校英語
- 10 市の取組

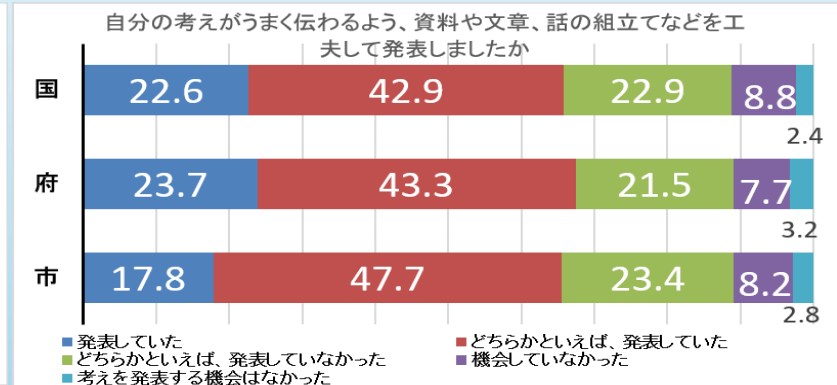
「学びに向かう力」

(38) 自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか

小学第6学年

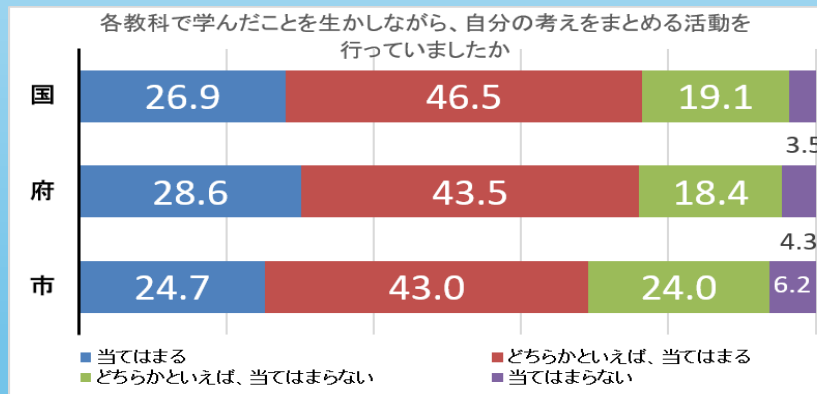


中学第3学年

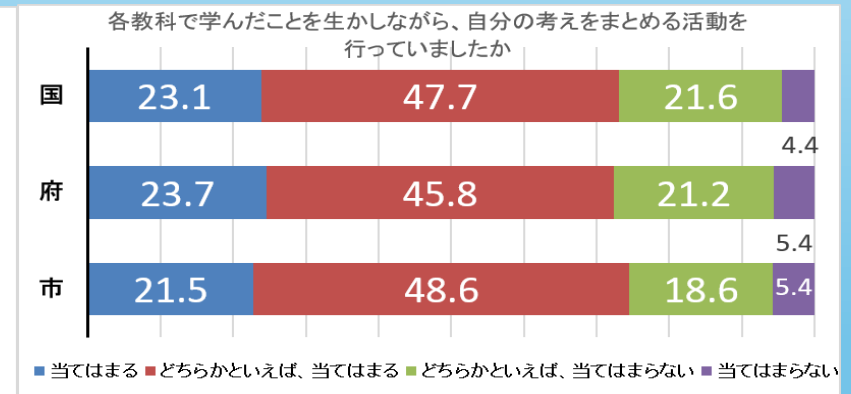


(40) 各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

小学第6学年

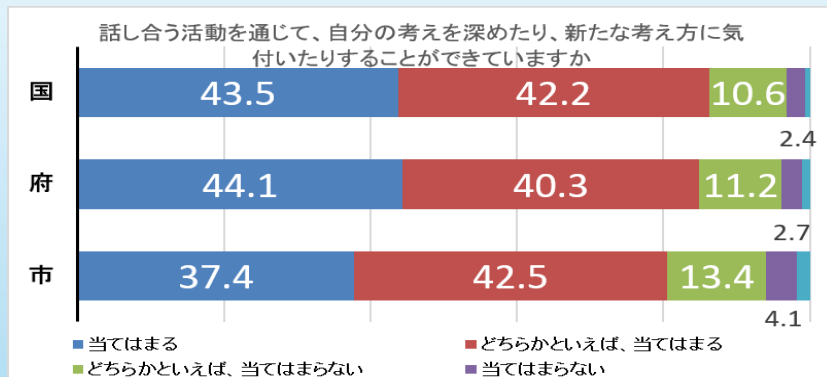


中学第3学年

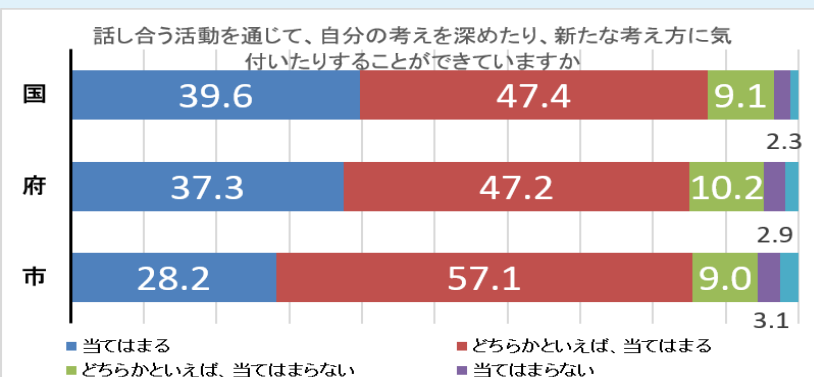


(42) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか

小学第6学年

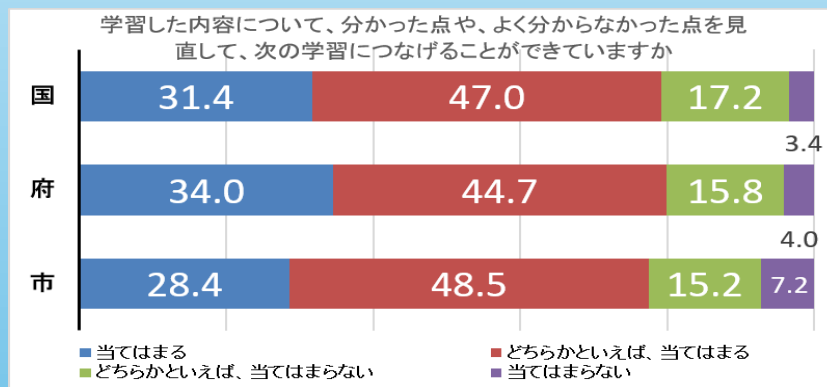


中学第3学年

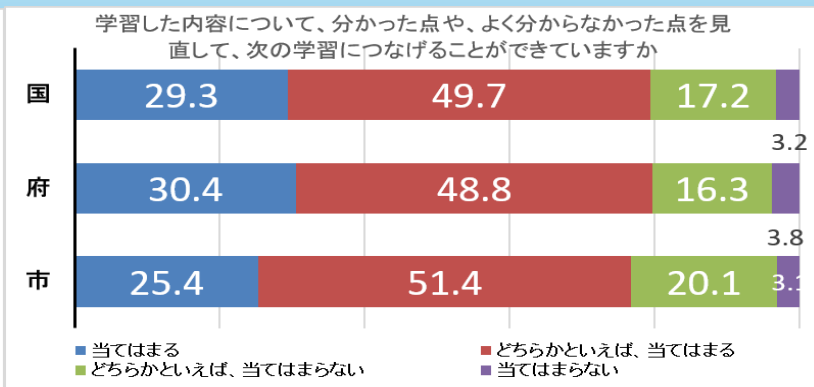


(43) 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

小学第6学年



中学第3学年



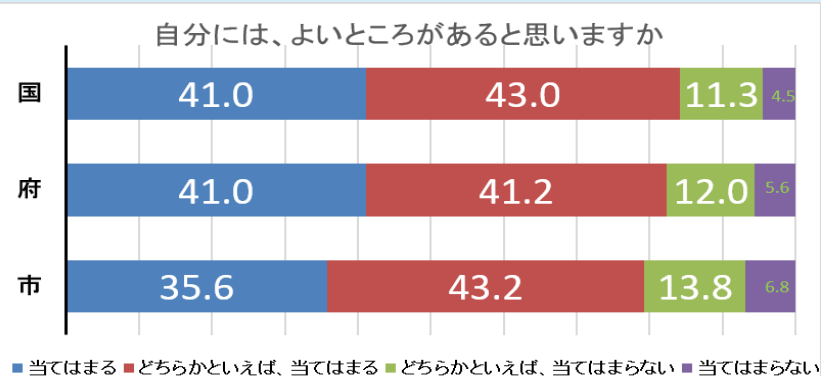
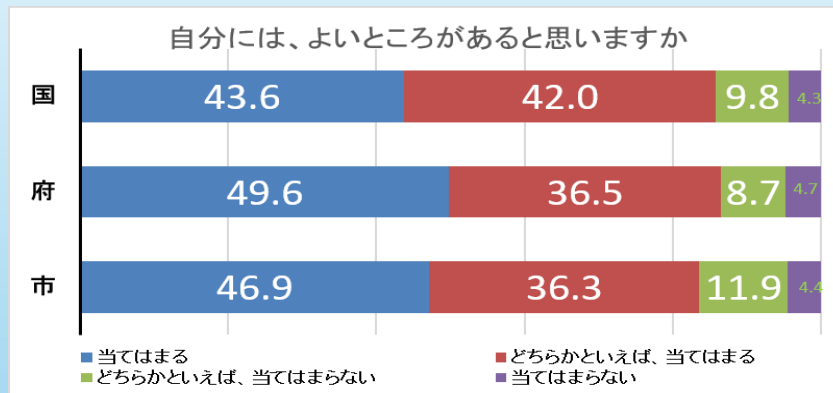
(結果) 学習の中で他者と関わりながら学ぶこと、学習したことを次の学びにつなげることに課題が見られます。

学校では「話し合う活動」、「振り返る活動」の充実をめざします。

2 「自己有用感」

(8) 自分にはよいところがあると思いますか

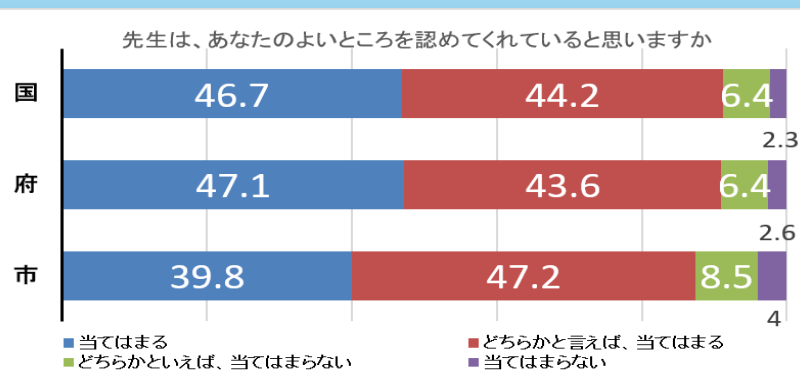
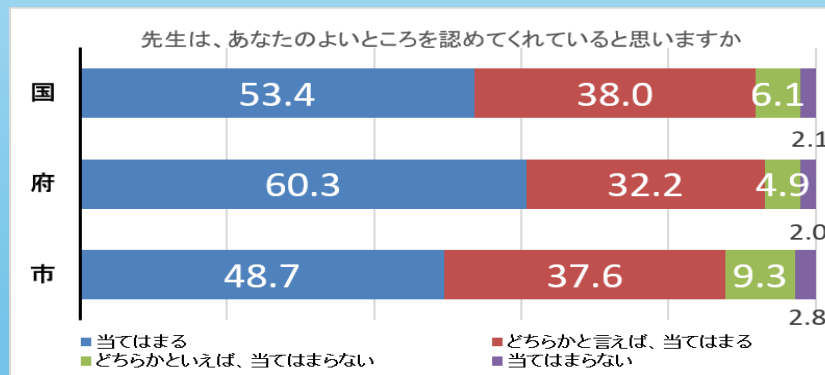
小学第6学年



中学第3学年

(9) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。

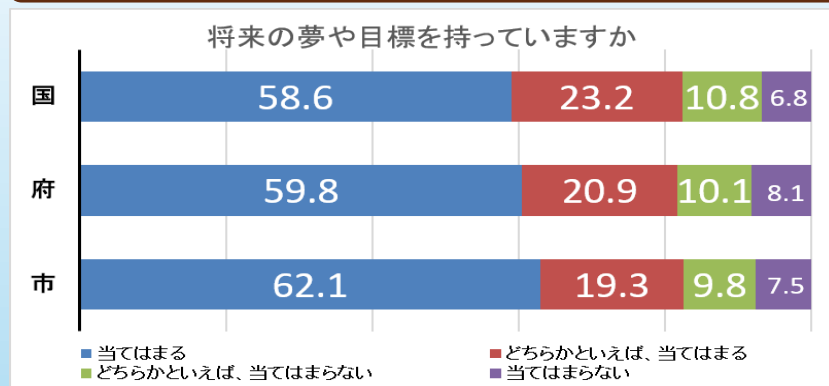
小学第6学年



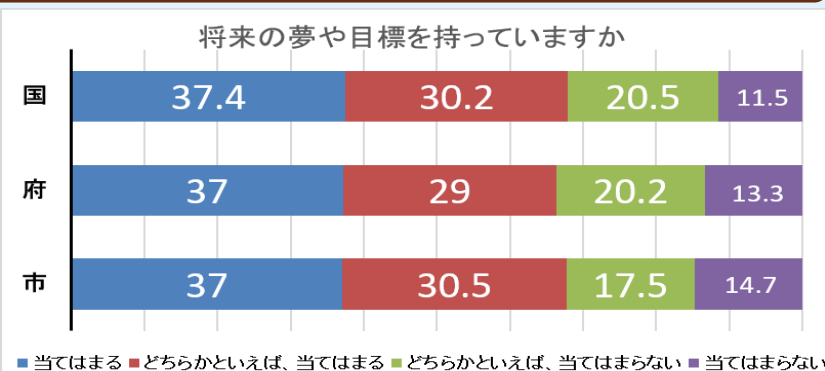
中学第3学年

(10) 将来の夢や目標を持っていますか

小学第6学年

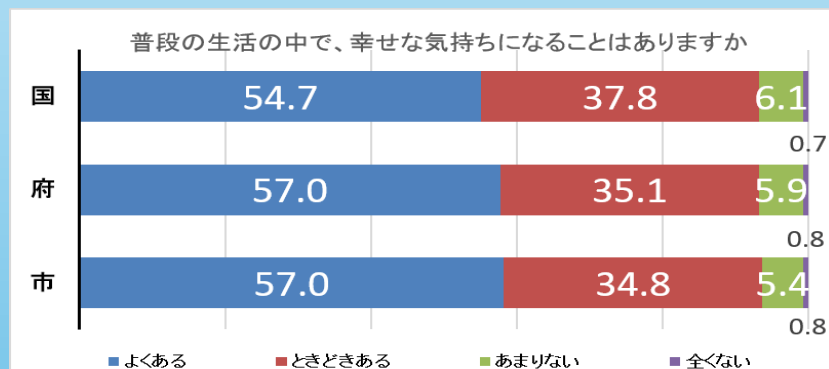


中学第3学年

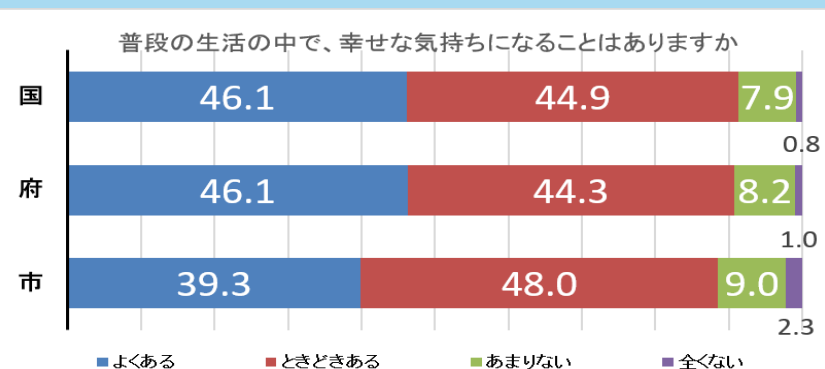


(21) 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはありますか

小学第6学年



中学第3学年



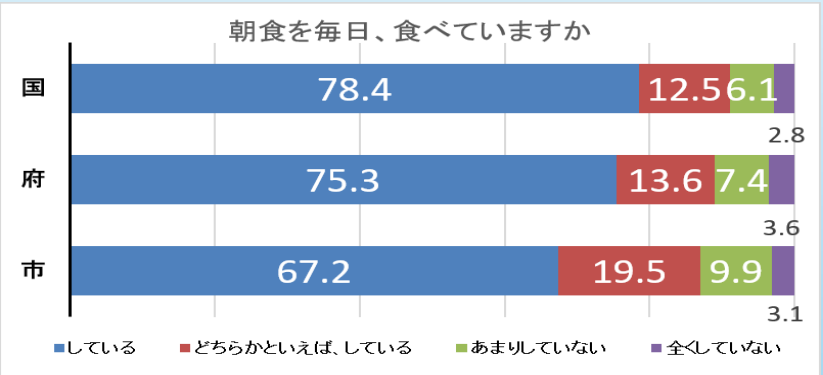
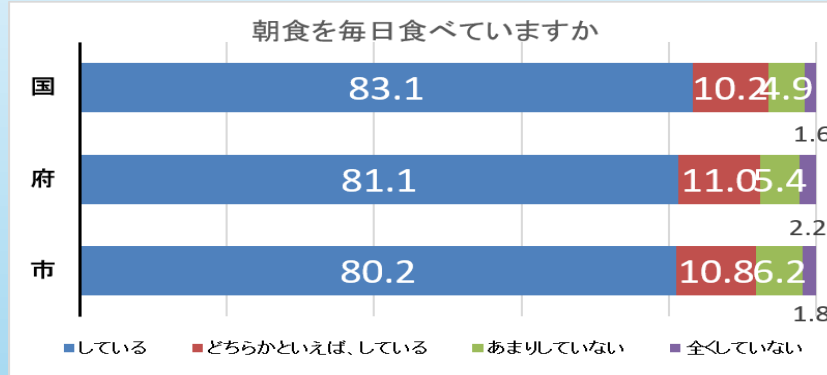
(結果) 小学第6学年は高い傾向にあり、中学第3学年は低い傾向が見られます。

学校では「ポジティブ行動支援」の取組を充実させ、児童生徒に肯定的な振り返りを返せるよう取り組んでいます。

3 「生活習慣」

(1) 朝食を毎朝、食べていますか

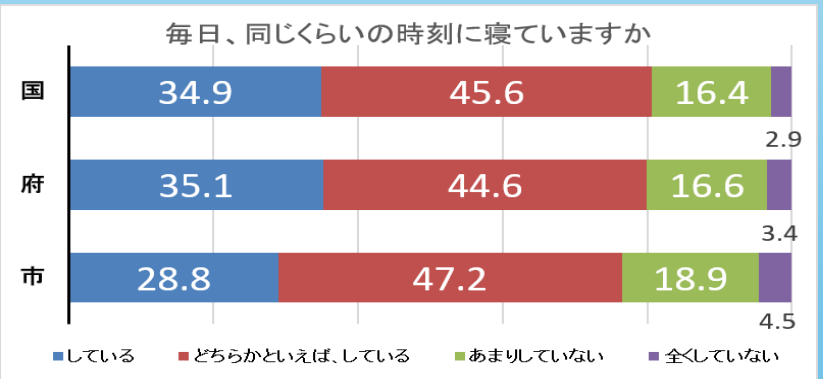
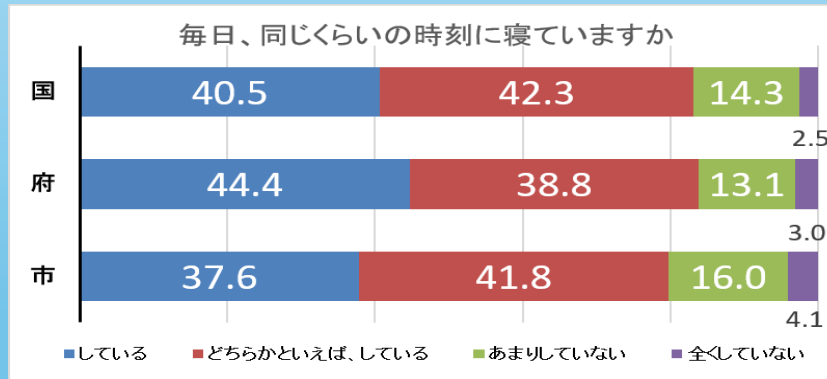
小学第6学年



中学第3学年

(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

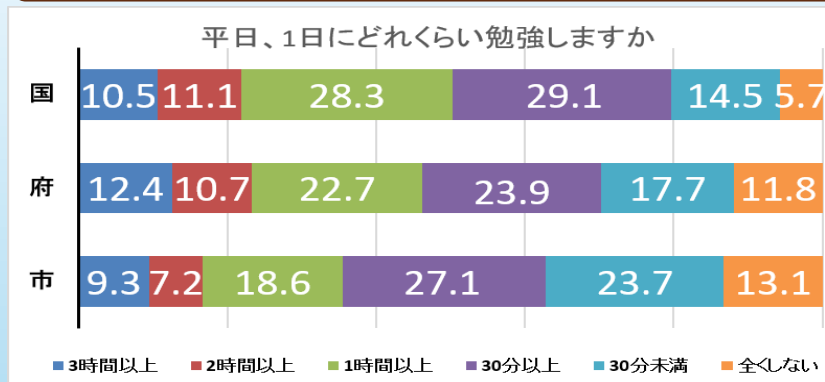
小学第6学年



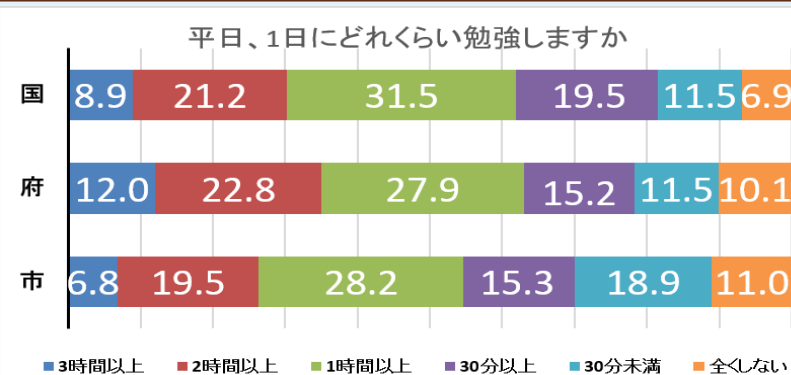
中学第3学年

(23) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

小学第6学年



中学第3学年



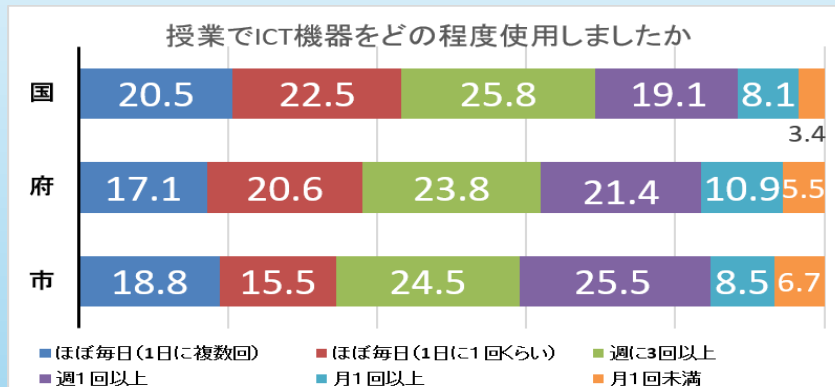
(結果) 小学第6学年、中学第3学年ともに課題であり、特に家庭学習時間30分未満の割合は、国や府と比較しても大きな差が見られます。

学校では、宿題や課題のあり方を工夫することで改善をめざしています。

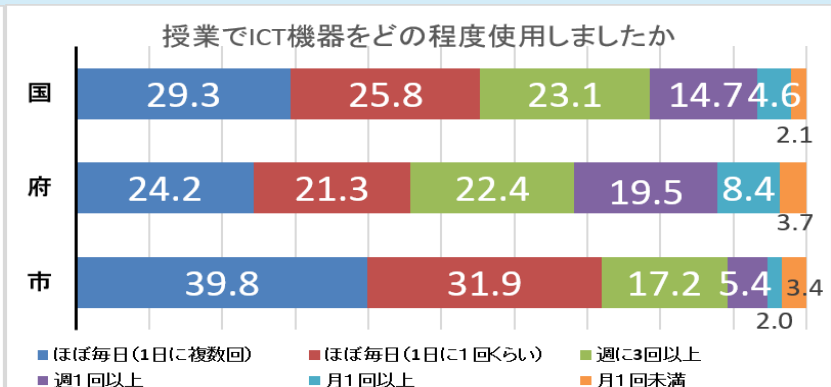
4 「ICT機器の活用」

(35)授業でPC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

小学第6学年

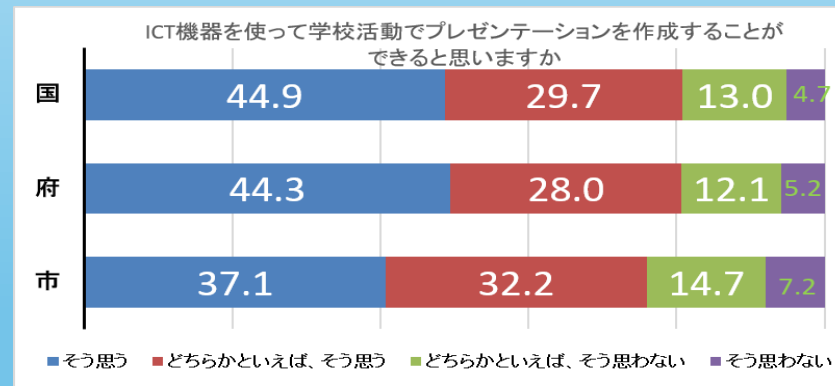


中学第3学年

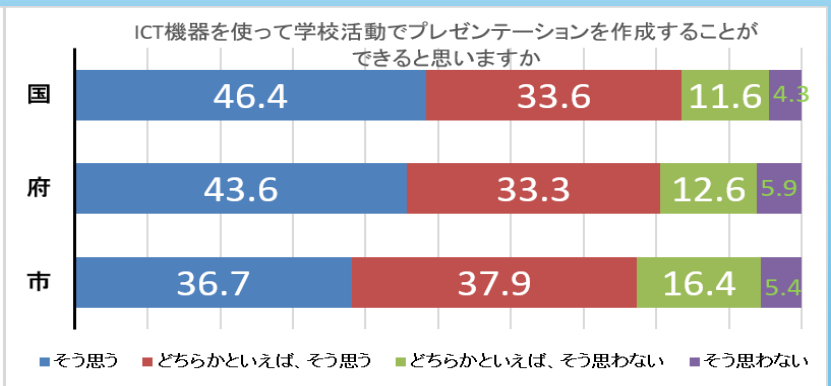


(36-4)PC・タブレットなどのICT機器を使って学校活動でプレゼンテーションを作成することができますか

小学第6学年



中学第3学年



(結果)「週に3日以上授業で使用している」と回答した割合は、小学第6学年は全国を下回り、中学第3学年は全国を上回る結果でした。

学校では、タブレットを使用させることが目的化しないよう、学習内容に応じた活用に努めています。

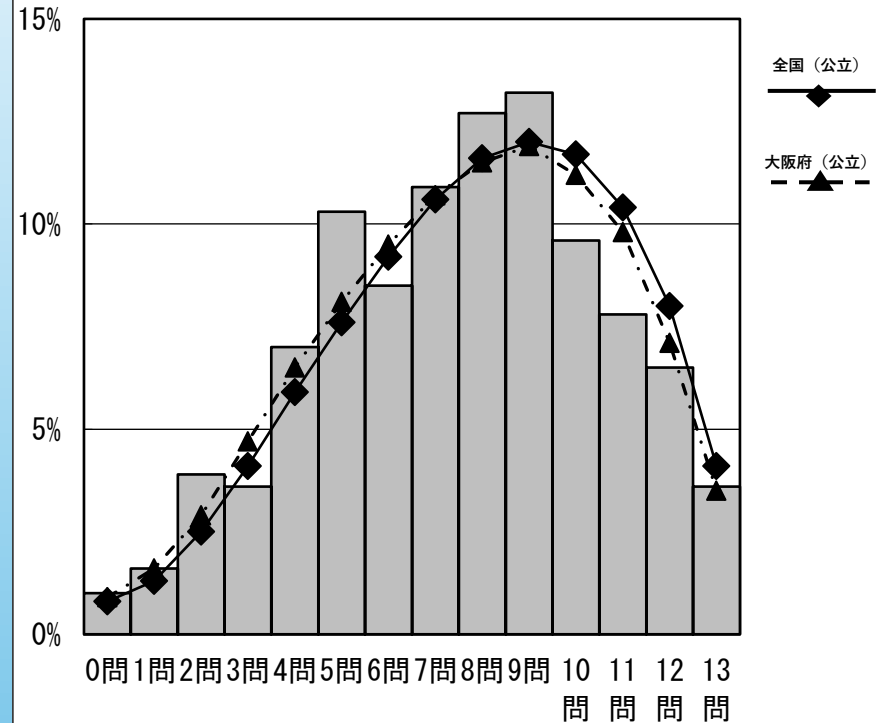
5 小学校 国語

平均正答数・正答率・無回答率

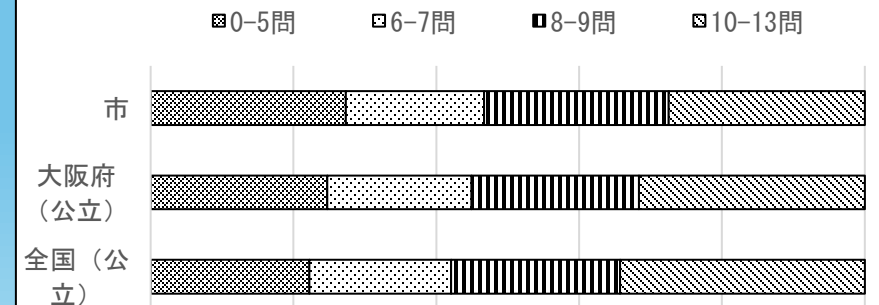
	平均正答数	平均正答率	無解答率
四條畷市	7.5 問 / 13 問	58%	4.1%
大阪府	7.7 問 / 13 問	59%	3.3%
全国	7.9 問 / 13 問	60.9%	3.4%

			平均正答率(%)		
			四條畷市	大阪府	全国
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	65.8	64.4	66.8
		情報の扱い方に関する事項	46.4	51.4	52.3
		我が国の言語文化に関する事項	-	-	-
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	62.5	63.9	65.8
		書くこと	42.9	43.8	45.7
		読むこと	61.5	65.3	65.9
評価の観点	知識・技能		59.3	60.1	62.0
	思考・判断・表現		56.6	58.6	60.1
	主体的に学習に取り組む態度		-	-	-
問題形式	選択式		58.1	60.4	61.9
	短答式		64.5	60.2	62.6
	記述式		50.0	53.2	54.9

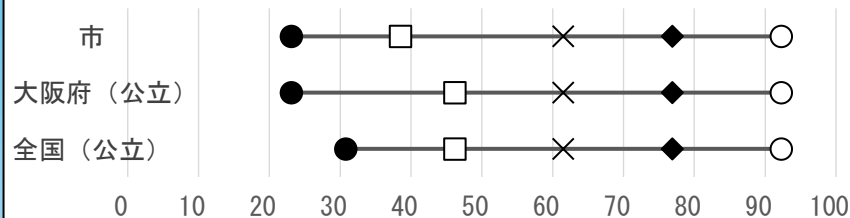
正答数分布グラフ



正答数ごとの層分布 (全国四分位)



正答率分布グラフ (パーセンタイル値: 10%, 25%, 50%, 75%, 90%)



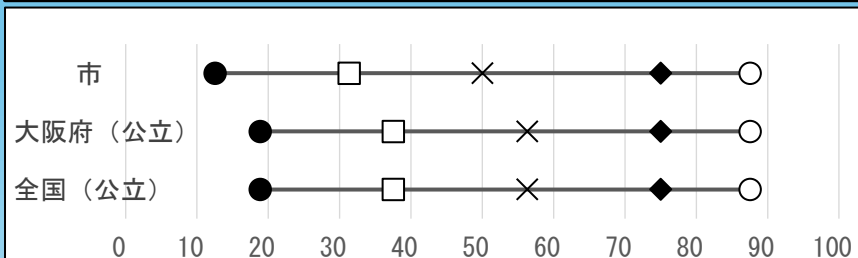
6 小学校 算数

平均正答数・正答率・無回答率

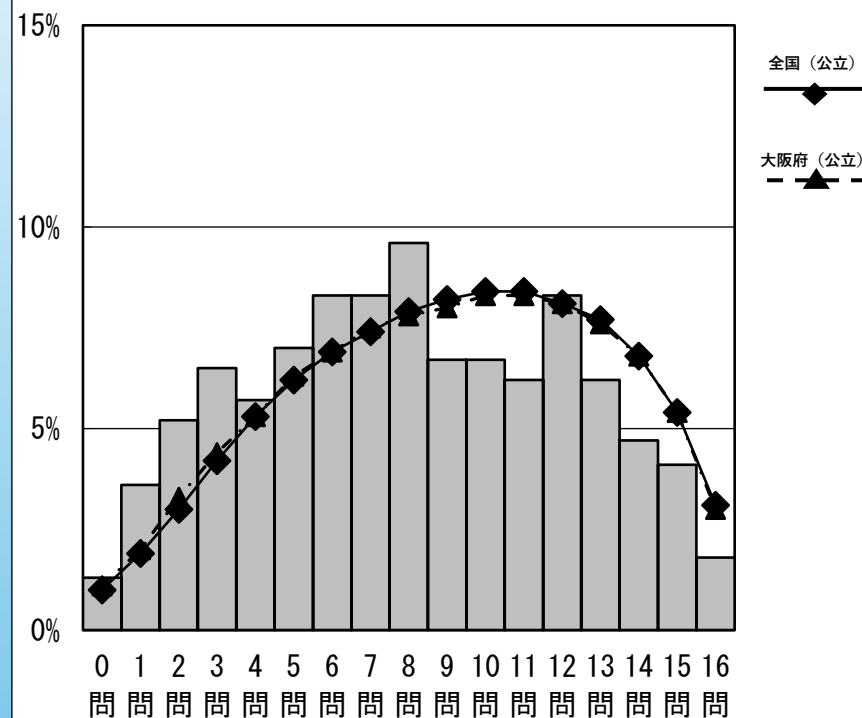
	平均正答数	平均正答率	無解答率
四條畷市	8.1 問 / 16 問	50%	3.0%
大阪府	9.0 問 / 16 問	56%	2.8%
全国	9.0 問 / 16 問	56.4%	2.9%

		平均正答率(%)		
		四條畷市	大阪府	全国
学習指導要領の領域	数と計算	56.1	61.1	61.1
	図形	47.7	54.2	55.3
	測定	71.3	77.6	78.1
	変化と関係	34.8	40.6	41.1
	データの活用	41.6	48.0	48.6
評価の観点	知識・技能	54.1	59.8	60.1
	思考・判断・表現	39.3	44.9	45.4
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	49.5	55.8	56.0
	短答式	54.2	59.1	59.7
	記述式	42.0	48.1	48.5

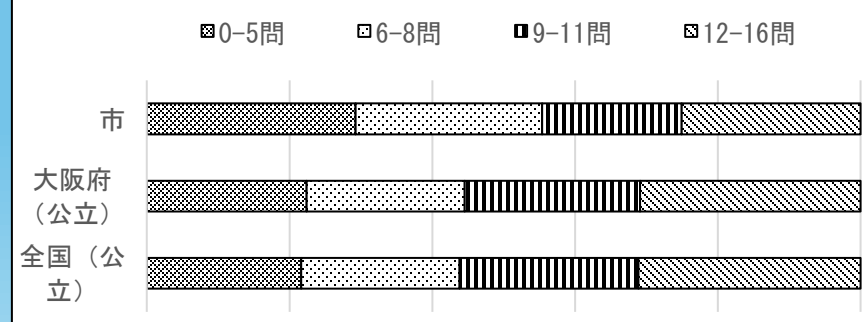
正答率分布グラフ (パーセンタイル値：10%, 25%, 50%, 75%, 90%)



正答数分布グラフ



正答数ごとの層分布（全国四分位）



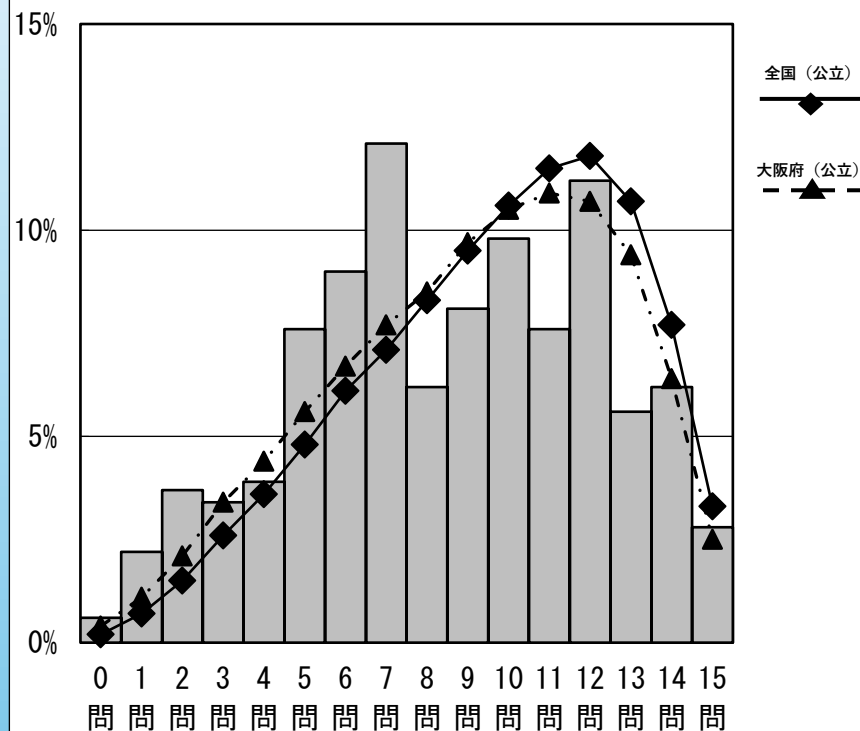
7 中学校 国語

平均正答数・正答率・無回答率

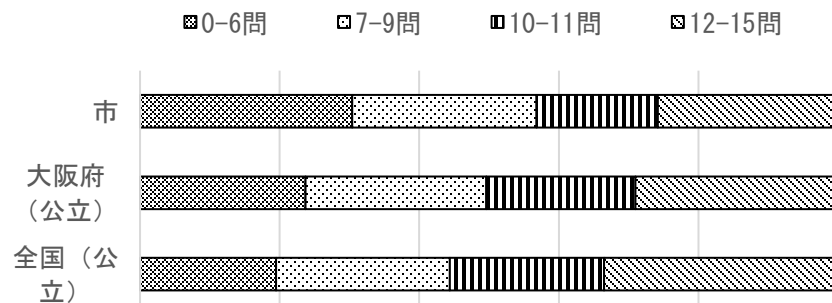
	平均正答数		平均正答率	無解答率
四條畷市	8.5 問 /	15 問	57%	7.5%
大阪府	9.1 問 /	15 問	61%	5.8%
全国	9.6 問 /	15 問	63.9%	4.9%

			平均正答率(%)		
			四條畷市	大阪府	全国
学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	56.3	60.4	63.0
		情報の扱い方に関する事項	61.8	66.8	70.4
		我が国の言語文化に関する事項	-	-	-
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	56.7	60.2	63.9
		書くこと	58.6	64.5	67.4
		読むこと	54.5	56.8	59.7
評価の観点	知識・技能		57.2	61.4	64.2
	思考・判断・表現		56.6	60.5	63.7
	主体的に学習に取り組む態度		-	-	-
問題形式	選択式		66.3	70.3	72.7
	短答式		46.6	52.5	55.8
	記述式		38.7	40.9	45.5

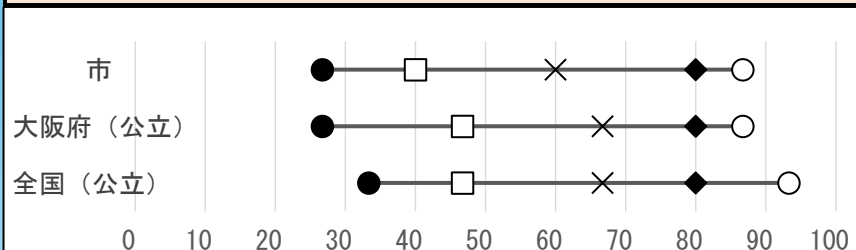
正答数分布グラフ



正答数ごとの層分布 (全国四分位)



正答率分布グラフ (パーセンタイル値: 10%, 25%, 50%, 75%, 90%)



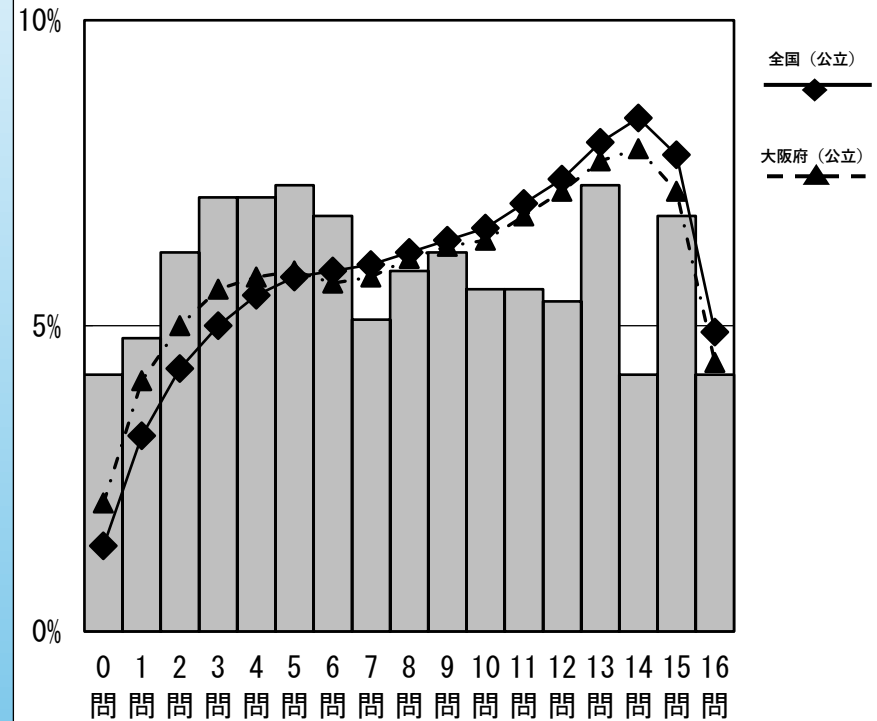
8 中学校 数学

平均正答数・正答率・無回答率

	平均正答数	平均正答率	無解答率
四條畷市	7.9 問 / 16 問	49%	14.7%
大阪府	8.8 問 / 16 問	55%	12.3%
全国	9.1 問 / 16 問	57.0%	10.4%

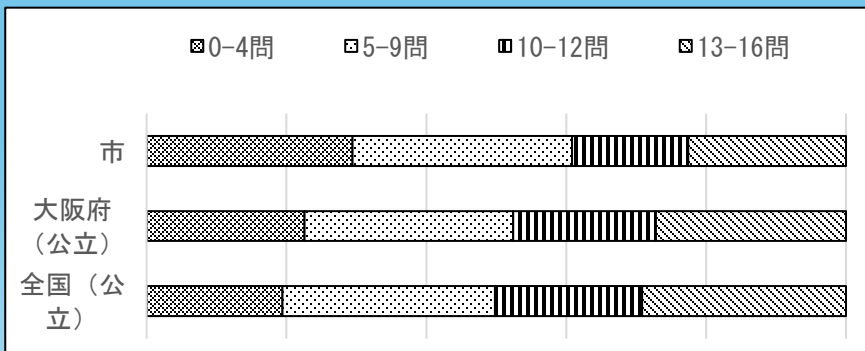
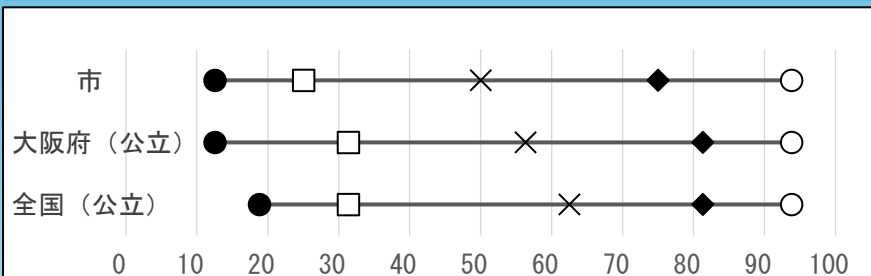
		平均正答率(%)		
		四條畷市	大阪府	全国
学習指導要領の領域	数と式	61.5	65.6	67.8
	図形	42.2	48	48.7
	関数	45.2	52.8	54.8
	データの活用	44.7	49.7	53.5
評価の観点	知識・技能	55.7	60.9	63.0
	思考・判断・表現	30.4	36.6	39.1
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	51.8	56.1	59.3
	短答式	57.1	62.6	64.2
	記述式	30.4	36.6	39.1

正答数分布グラフ



正答数ごとの層分布（全国四分位）

正答率分布グラフ（パーセンタイル値：10%, 25%, 50%, 75%, 90%）



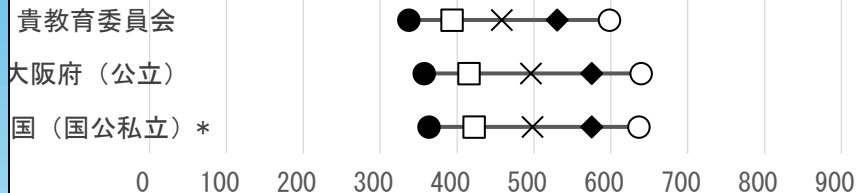
9 中学校 英語

平均正答数・正答率・無回答率

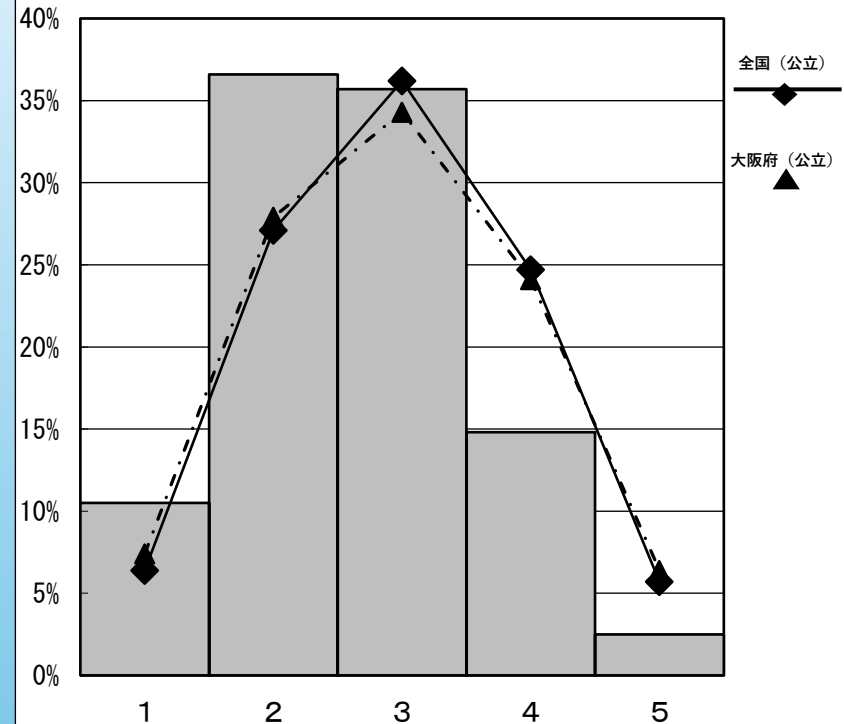
4技能	全員が取り組む問題における			IRTスコア
	平均正答数	無解答率		
四條畷市	3.5 / 9問	9.5%	市	461
大阪府	4.4 / 9問	7.1%	府	497
全国	4.5 / 9問	5.3%	全国	499

		平均正答率(%)※		
		四條畷市	大阪府	全国
※全員が取り組む問題における				
学習指導要領の領域	聞くこと	46.6	56.8	57.9
	読むこと	46.0	56.1	57.4
	話すこと〔やり取り〕	32.2	38.8	42.3
	話すこと〔発表〕	14.1	21.7	25.8
	書くこと	36.4	46.9	46.5
評価の観点	知識・技能	48.2	58.9	59.8
	思考・判断・表現	29.5	38.3	39.8
	主体的に学習に取り組む態度	-	-	-
問題形式	選択式	46.3	56.4	57.7
	短答式/口述式	45.4	56.6	55.8
	記述式/口述式	21.5	29.4	32.0

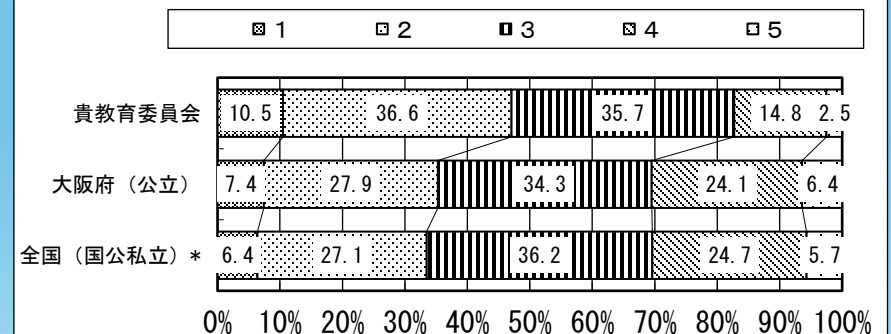
正答率分布グラフ (パーセンタイル値: 10%, 25%, 50%, 75%, 90%)



IRTバンド分布グラフ



IRTバンド分布比較



10 四條畷市の取組（記述力の向上）

令和8年度全国学力・学習状況調査 小学校第6学年 国語（国立教育政策研究所）より 引用

この問題の正答率

四條畷市	大阪府	国
31.3	30.1	33.5

この問題の正答例、その他の問題は「国立教育政策研究所」のページでご覧になれます。
<https://www.nier.go.jp/26chousa/26chousa.html>



【花山さんの文章の続き】

4 すずしく過ごせる衣服の色は何色か

「色の効果」という本には、「青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。」と書かれている。青や水色などひんやりとしたイメージのある色の服を着ることで、長そででもすずしく過ごすことができそうだ。

また、

ここを

5 終わりに

これまでなんとなく選んでいた衣服も、日差しをさえぎるくふうや、衣服の形、着方、色をくふうすることによって快適に過ごせることが分かった。今回分かったことを生かし、これからの生活の中で衣服をくふうしていきたい。

（参考文けん）

【集めた情報】

本の題名	本文の一部
色の効果	青は海や水を連想させ、すずしそうに見える。白は雪の色であり、冷たい印象がある。赤があたたかく感じられるのは、太陽や火を連想させるからだ。
生活と太陽	白は熱や光を反しやする色のため、熱くなりにくい。一方、黒は熱や光をきゅうしゅうし、熱くなりやすい。
夏のくらし方	白やうすい青はさわやかに見え、すずしく感じます。さらに、着ている人だけでなく、周りの人にもすずしさを感じさせます。

四 花山さんは、「集めた情報」をもとに、「すずしく過ごせる衣服の色は何色か」について考えたことを「花山さんの文章の続き」に書いています。あなたが花山さんなら、
 どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

紙と鉛筆で
書く活動を
大切に！



書く力

※上の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。
 解答は、解答用紙に書きましょう。
 ※◆の印から横書きで書きましょう。どちらうで行を変えないで、
 続けて書きましょう。

○ ○ ○ ○（条件）
 「集めた情報」の中から、本の題名と本文の一部の内容を選んで、ぬき出して書くこと。
 ぬき出した本の題名と本文の一部の内容はかきかっこと（ ）でくくること。
 百四十文字以内にまとめて書くこと。

条件に合わせて

小国-12

小国-11

学校では、言語活動の充実に努めており「引用して自分の考えが伝わるように書く」問題の正答率が大阪府平均を上回りました。引き続き「記述力」向上の取組を推進し一層の改善に努めます。